

JST発ベンチャーの成長を支えるSUCCESS

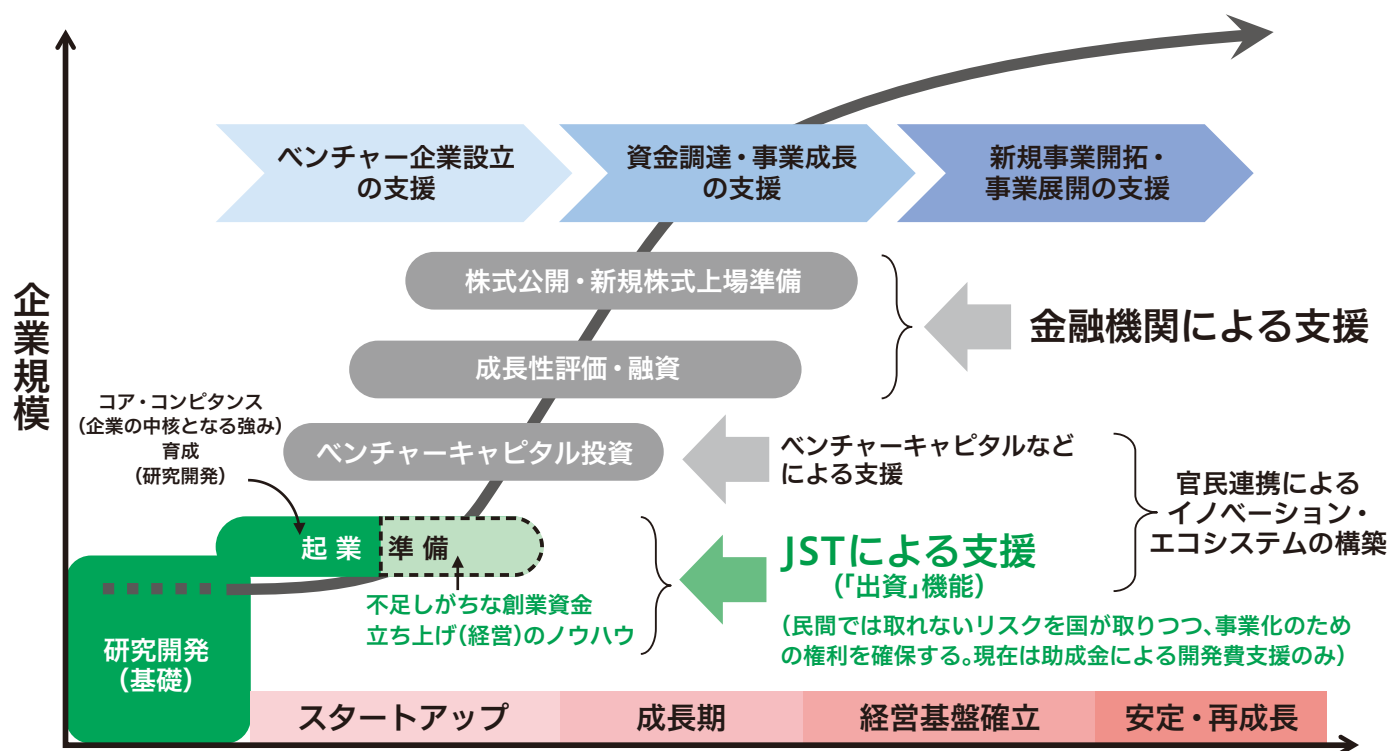
研究開発型ベンチャーには、大学などの革新的技術の事業化の担い手として、大きな期待がかかる。しかし、基礎研究の成果を事業に結び付け、事業を維持していくのは簡単ではない。JSTが実施する事業の成果を基に設立されたベンチャー企業は増加傾向にあり、今年3月の時点で409社に上るが、新たな産業の創出、経済の活性化に向け、さらなる支援が必要だ。JSTは、2014年4月より「出資型新事業創出支援プログラム(SUCCESS)」を開始し、JST事業発のベンチャー企業を支援している。

SUCCESSは、JSTの研究開発成果を実用化し、社会還元することをめざすベンチャー企業を支援する制度で、新たに設立するか、設立からおおむね5年以内のベンチャー企業を対象とする。創業初期の段階は、リスクが高く民間だけでは十分に資金が供給されないことが多い。SUCCESSではこ

の初期段階に出資を行い、民間で取ることの難しいリスクをJSTが取ることによって、ベンチャー企業の成長を後押しする。公的な機関が出資することで社会的な信用が高まり、民間による出資を得やすくなる「呼び水効果」が狙いの1つだ。

研究開発費だけでなく事業に必要な使途にも充当できる出資金のほか、人的、技術的な支援もする点が特徴だ。ベンチャー企業では不足しがちな知的財産の取り扱いや経営管理、マーケティングのノウハウなどを提供するほか、JSTのネットワークを駆使し、潜在ユーザーや業務提携先、民間の出資先の紹介なども行う。また、JSTが持つ知的財産や設備などを現物出資することも可能である。

今年8月現在、SUCCESSから出資を受ける15社のうち4社に、起業への道のりやSUCCESSにより出資を受ける利点などについて聞いた。



大学などの革新的な技術をイノベーションにつなげるために、ベンチャー企業に対してフェーズに見合った支援が求められる。SUCCESSでは、事業の初期段階のステージにあるベンチャー企業を支援している。